

米国大統領選挙、トランプ氏が想定外の勝利

Insights from UBS Asset Management

ポイント

- ・米大統領選挙においては、トランプ氏が勝利し、議会選挙でも共和党支配が濃厚な情勢
- ・想定外の結果を受け、金融市場ではボラティリティが拡大し、株式などのリスク資産が急落
- ・当面は、新政権の政策を見極める動きが続くと考えられる中、新政権の人事や政策の具体化に注目

トランプ氏が競り勝つ

8日に米国の大統領選挙投票日を迎え、トランプ氏が、大方の予想に反して勝利し、同時に行われている議会選挙でも上院下院とも共和党の勝利となりました。

市場の想定外であったトランプ新大統領の誕生、議会での共和党支配の継続という結果を受け、アジア市場の反応は、「トランプリスク」警戒から、S&P 500 種株価指数先物が急落、日経平均は一時 1,000 円を超える下落となっています。

為替市場では、4円程度の円高が進み、メキシコ・ペソは対ドルで大幅な下落となっています。一方で、米国 10 年債利回りは、質への逃避等から低下しています。

トランプ新政権の金融・財政政策

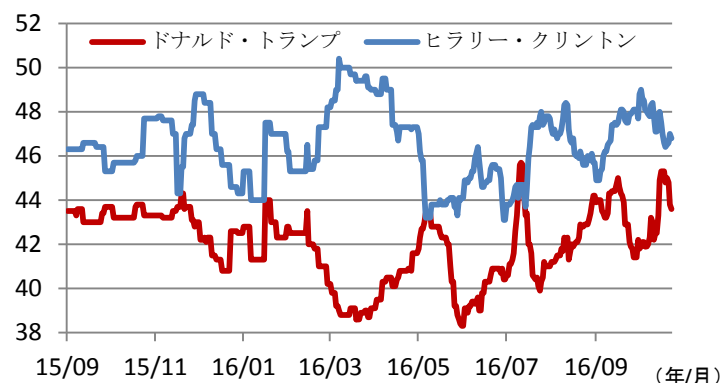
市場は想定外の結果を受け、トランプ新政権の人事や具体的な経済政策、その実現可能性などについて模索する展開になると予想されます。

選挙期間においては、インフラ投資等の財政政策による大規模な景気刺激策や、最高法人税率・所得税率の引下げなどの大型減税を目玉としており、雇用面では製造業中心に移行政策等による国内の雇用増加を打ち出しています。

その他、金融規制の緩和、オバマケアの廃止など規制緩和も進めていく可能性があります。

最大の懸念事項は貿易や外交面と見られ、自由貿易協定の見直し、中国・メキシコへの輸入関税、TPP 反対など反グローバル化の姿勢が政策に反映された場合、保護貿易が強まり、世界経済が失速することも懸念されます。

■両米大統領候補の平均支持率（世論調査）の推移
 （2015年9月15日～2016年11月8日）



出所：リアルクリアポリティクス

株式、債券、為替市場への影響

株式市場においては、短期的には不透明感が高まる展開が想定され、当面は新政権の人事や政策の進捗を見極める動きが予想されます。

一方で、米国の金融システムは安定しており、FRBを含む世界の中央銀行は緩和的な金融政策を維持していくと見込まれています。新興国経済が回復基調にあることも株式市場にとってサポート材料になることが期待されます。

債券市場においては、財政拡大に対する懸念が台頭し、長期金利に対する上昇圧力が高まる可能性がある点に注意が必要と見られます。一方で、質への逃避の動きが強まる局面では、国債などに資金が向かうと想定されます。

為替政策においては、貿易相手国の通貨安を非難するなど基本的な政策はドル安と見られてきましたが、金融引き締め策等による米長期金利の上昇が、ドル高要因になると見られます。一方、保護主義を警戒しリスク回避の動きが強まる局面では、円やスイスフラン等への逃避の動きが予想されます。

選挙後の注目点

トランプ氏の勝利を受け、政策の不透明性が台頭することにより、当面は、金融市場のボラティリティが高まることが予想されます。経済政策の実現性に加え、保護貿易の加速やグローバル化の後退などによる世界経済への影響を市場が織り込むには時間を要すると考えられます。

一方で、インフラ投資を含む景気刺激や減税などは、景気や株式市場にプラスの効果も期待されます。また、ドル安が進めば米国の輸出企業をサポートする可能性も指摘されています。

トランプ氏が選挙キャンペーン中に主張していた政策が現実にすべて実行されるのは難しいとの見方もあり、今後の展開を見極める必要があると考えます。

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

本資料ご使用にあたってのご留意事項

投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面でご確認ください。なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、UBSアセット・マネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

投資信託のリスクについて

投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。

投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。
※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

投資信託の費用について

投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

【直接ご負担いただく費用】

- ・購入時：購入時手数料 上限 3.78%（税抜 3.50%）
- ・換金時：信託財産留保額 上限 0.3%

【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】

- ・運用管理費用（信託報酬） 上限約 2.4839%（税込）（ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む）
- ・その他の費用（監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等）をご負担いただきます。

※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

商号： UBSアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第412号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2016. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。